

## 女性つながりサポート事業【北海道函館市】

総事業費	5,995 千円
交付金額	4,496 千円

## 地域の実情と課題

市や事業所の政策・方針決定過程における女性の割合が低いことから、女性の能力の開発促進とともに、能力に見合った女性の登用拡大や、職員のワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みを促進していく必要がある。

## 目的・目標

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により不安を抱える女性に対し、多様な相談支援や居場所づくり、生理用品等の提供などの支援の実施により、女性が社会との絆・つながりを回復することを目的とする。

・多様な支援相談の目標値：128件

## 事業の特徴

- ・不安を抱える女性に対し、メール相談のほか、カウンセラーや心理士、助産師等の専門相談員による相談、相談内容に応じた同行支援のほか女性センターでの居場所づくりや生理用品の提供を行う。
- ・相談場所の周知のため学校等での生理用品を提供する。
- ・相談場所に出向くことが難しい相談者に対応するため、希望する場所や学校等での訪問支援を行う。
- ・アウトリーチ型相談イベントを開催し、様々な不安を抱える女性が社会との絆・つながりを回復できるような講座やワークショップ、ピアサポート等の実施と合わせて相談支援を行う。

## 連携団体

委託事業者

・にっぽん生活文化楽会(函館市女性センター指定管理者)  
(相談事業の再委託事業者：NPO法人ウイメンズネット函館、函館家庭生活カウンセラークラブ)

その他の連携

・市の各種相談窓口(女性相談室やDV・性暴力相談等)、マザーズハローワーク、地域包括支援センター、市内の学校等との情報共有、相談者を適切な支援につなぐための連携、窓口での本事業の周知および生理用品の提供を行った。

## 事業の効果

- ・不安を抱える女性からの相談を受け、必要とする支援の関係機関へつなげた。(相談件数 72件、関係機関連携11件)
- ・本事業により女性センターが公設私設問わず、様々な相談機関等と連携したことで、女性相談機能が強化された。
- ・アウトリーチ型相談イベントは、ワークショップ等への参加から相談支援へつながるケースが複数あり、困難や不安を抱える女性が解決に向けて踏み出すきっかけとなった。

## 今後の課題

- ・実施した相談方法(面談・メール)では、アウトリーチ型の面談の数が多く、メールによる相談が少なかった。
- ・これまで、相談機関を利用してこなかった女性に対し、より気軽に安心して相談できるようにするためには、不安を抱える女性の興味・関心を引く講座やワークショップ等と合わせて、カフェ方式のピアサポートを実施することなど、相談への心理的ハードルを下げる環境づくりが必要である。

# 事業の概要

## 女性センターを拠点とする事業

委託事業者:につぼん生活文化楽会(女性センター指定管理者)

### 実施内容

メール、訪問による相談支援、居場所の提供、体験イベント、生理用品の提供を行う。



### (1) 相談支援

メール相談: 月～土曜日 9:00～17:00 (受付は24時間)  
 訪問相談: 希望する事業者や高等教育機関等に相談員が直接訪問

### (2) 居場所の提供

ホッとスペース: 月～土曜日 9:00～21:00  
 フリースペースとして開放  
 イベント: 親子ヨガ等女性が参加しやすい体験イベントを月1回程度実施

### (3) 生理用品の提供

◆ 相談場所において、相談支援の一環として提供(袋ごと)



◆ 事業周知用にリーフレットと生理用品の小分けセットでの提供



## アウトリーチ型相談イベント

委託事業者:につぼん生活文化楽会(女性センター指定管理者)

### 実施内容

相談者の来訪しやすい日時・場所において相談支援、居場所の提供、体験イベント、生理用品の提供を行う。(年4回)